

令和元年度 第3回 長浜市子ども・子育て会議 会議録

日 時 令和2年1月24日（金）午前10時～午前11時10分
場 所 長浜市役所5階 5-B会議室
出席者 【委員】西川委員、大橋委員、井関委員、鎌田委員、車戸委員、野田委員、
長委員、前田委員、吉井委員（9人）
【委託会社】株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所：菅原
【事務局】健康福祉部長：且本、次長：長谷川、幼児課：大音、小川
子育て支援課：村崎、益田、前畠、涌井
欠席者 富岡委員、平山委員、前田和委員、山路委員、池田委員、熊谷委員（6人）
傍聴者 なし

〈開会〉

事務局

これより令和元年度第3回長浜市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。本日はご多用の中、本会議にご出席いただきありがとうございます。

本日の傍聴者はいらっしゃいません。

～健康福祉部長より、開会のあいさつ～

事務局

本日は、6名の委員より欠席のご連絡をいただいておりますが、長浜市子ども・子育て会議規則第4条第3項の規定に基づき、過半数の出席があるため、本会議が成立することをここにご報告します。

それでは、規則第4条第2項の規定に基づき、議事の進行は西川会長にお願いいたします。

会長

令和2年となって初めての会議です。今年もどうぞよろしく願いいたします。今、ご挨拶もいただきましたけれども、第2回で非常に様々なお立場からご意見をいただきまして事業計画ができあがりました。ここまでまとめていただいた事務局のご協力に心より感謝申し上げるとともに、本日はそれを受けて最終的に確認をさせていただき、もう一度確かなものとして世に出すというところですので、そのあたりのご意見、それから今後の進捗管理についての内容等を確認してまいりたいと思いますので、どうか本日もそれぞれのお立場でご意見をいただきますよ

うよろしく願います。

会長

では議題（１）第２期長浜市子ども・子育て支援事業計画（案）について事務局からご説明をお願いいたします。

事務局

事前配布の「第２期長浜市子ども・子育て支援事業計画（案）」に基づき説明

①パブリックコメントの結果について

令和元年 11 月 22 日から 12 月 23 日の約 1 か月間、市のホームページ、本庁と支所の市政情報コーナー、幼児課、子育て支援課での閲覧を実施した結果、意見等はなし

②パブコメ後に修正・追加したことについて

国の動きに合わせて追加したことの報告

子どもの貧困対策について、国の大綱閣議決定を受けて文章の追加が 2 か所、指標の追加が 1 か所

滋賀県との協議を踏まえて「子育てのための施設等利用給付（幼児教育・保育の無償化）の円滑な実施」という項目を設けるようにという指摘があったため、項目を設けて文章で明記

その他、和暦と西暦を併記するなど軽微な修正・追加

全体のデザインについて、ヘッダーと長浜らしいモチーフのフッターの挿入
資料編に用語集を追加

資料 3 概要版（案）について説明

会長

ありがとうございました。今事務局の方からまずパブコメについての結果報告がありました。11/22～12/23 の間で意見はなかったということです。また、パブコメ後に修正した箇所として、国の動きで、子どもの貧困対策の大綱閣議決定を受けての修正のご説明がありました。それと軽微な修正ということでご説明がありました。概要版について、イメージなのでだいぶ変わるかもしれませんが、おおまかな内容とデザインのご提示がありました。いかがでしょうか、何かご意見ありませんでしょうか。

内容については前回かなりご意見いただいておりますので、その点のご確認やも

う一度見ていただいてお気づきの点がありましたらご意見いただければと思います。

私から一点、パブコメで意見がなかったということですが、他部署でも色々とパブコメをしていると思いますが、意見はあまりないものなのでしょうか。

事務局

他の計画では1、2件ということもあります。

会長

期間はどの計画もこのくらいなのでしょうか。

事務局

そうです。期間は、1か月以上は行うように決められています。

会長

関心が低いということでもないのか、パブコメは意見が集まりにくいということがあるのかもしれませんが。

事務局

パブリックコメントは一般的に数が多いものではないので、本計画では今回は意見がありませんでしたが、計画策定において、アンケートとかヒアリングを行う中で市民の声はある程度拾えたかなと思います。

委員

長浜市は2回も合併しています。事業計画の5ページに、統計として人口の推移が示されており、平成22年1月に6町1市が合併し、人口減少が続いていくなっています。施策を進める上では、山間部等の人口減少が続いている地域と、おそらく人口が増え続けている旧長浜市と、地域によって人口動態や子どもの数に格差があると思います。市全体としての基本計画となっていますが、そこから掘り下げて事業を進めようとしたときに、旧町の人口が減っていくところと増えていくところとを、何かで読み取って進めようとしているのでしょうか。市全体の基本計画としてはわかるのですが、それぞれの地域ごとの現状がありますので、そのあたりはどうなのかと思いました。

会長

市全体の人口推移は出ているが、山間部と市街地のデータはあるのか、というこ

とです。学区ごとのデータはあったかと思いますが、事業計画の中にそこまで細かいところは出せないのかと思いますが、そのあたり事務局いかがでしょうか。データとしてあるのかどうか、人口が急激に減っていくことについて地域の対策を立てているのか、以上2点です。

事務局

地域ごとの部分については、エリアごとに課題があるので、エリアごとの事業を考えていくのかどうかということをご議論いただいております、そのためニーズ調査はエリア（学区）ごとに行いました。ただ、エリア別では母数がやはり少なく、そのまま計画に取り入れることは難しいので、計画としては長浜市全体で載せています。ただし、地域の子どもを地域で育てようという項目もありますので、その中で地域性を見ていくということも一つあると思います。今おっしゃっていただいた、地域を見て、というところの具体的な書きぶりは、計画の中ではできていない状況です。例えば、放課後児童クラブも、南と北とでは様子も動きも違いますので、そのあたりを考えていきたいと思っています。

会長

放課後児童クラブはエリアごとに見ていく必要があるという議論がかつてございました。事務局の意見は、市全体の事業計画としてなかなかそこまで細かくは見られないということでした。非常に大事なご質問をありがとうございました。

委員

30 ページに、保育士等の確保とあります。国のほうで確保するためには賃金を上げなければいけないということが出ていましたが、具体的な取り組みはされているのでしょうか。何年度から上げるとか私は記憶にはないのですが、具体的な施策をやられているのか、興味がありますので、お願いします。

事務局

幼児課です。認可園に支給する給付金として、処遇を改善するという加算を付けて支給をしています。他の市では保育士を雇用すると市単独で4万円の補助を出しているところがあります。東京と千葉では取り合いになっている状況もあります。今のところ、長浜市では現金での支給はありませんが、家賃補助でありますとか、国の中でも高額な補助を出しております。この他、奨学金補助や、潜在保育士の発掘ということで、再就職時の支援金も行っています。この3つの施策を進めていきたいと思っております。

会長

民間はキャリアアップによる給与の上乗せというのも考えられていますが、そのあたりは3つの施策の中には入っているのですか。

事務局

キャリアアップは、3つの施策の中には入っていません。

会長

キャリアアップという方法である程度給料が上がっていくことは考えているのですか。

委員

キャリアアップは実際の状況はバラバラで、7万円上がるという話ですけれども、本当に上がっていくのかということを、国でも言われていたと思います。

会長

資料がないのですが、キャリアアップをすべて受けたら4万円上がる、1つの科目につき5,000円が上乗せされるということで、キャリアアップ研修という、何百人という方が受けに来られるそうです。これは市の事業ではないですが、そういう部分もあるのではないかとということです。

委員

私のところは民間保育園ですが、保育士さんの処遇改善ということでは、3年以上であれ、5年以上であれ、7年以上であれ、年数に関係なく、みなさんの処遇を改善してあげないといけないという思いが現場ではあります。キャリアアップのパスはとにかく取りなさいという考え方になってしまっていると思います。そのキャリアアップの4万円をもらっている人と、ずっともらっていない人とがいて、その付け方には不公平感があると現場としては思っています。処遇改善1、2とあり、2が得られない人には1を多めにするなど、現場としては、できるだけすべての保育士さんの処遇を上げてあげたいというのがあるので、民間は給料が安いという印象もあってなかなか確保できないのですが、そのあたりのところをどうしていくか、ということが民間の保育協議会の中では毎回議論されるところです。

会長

ありがとうございます。いくつかのチャンネルがあって、処遇改善の試みはされているものの、制度上の制限があるために、いろいろな問題があるということです。

1人4万円ではなくて、10人いたら4,000円ずつになるとか、よくわからない制度になっています。いくつかのチャンネルを併用しながら処遇の改善を試みられてはいるものの、まだまだ機能していないようです。

委員

やってもらっているというのはわかるのですが、まだまだ足りていないと思います。

事務局

幼児課としては、先日、市内のすべての高校を回り、民間園も含めて、将来保育士を目指してほしいというPRをしてきました。小さい頃から保育士になりたいと思う人を増やしていくための取り組みも進めているところです。

会長

ありがとうございました。他、いかがでしょうか。

～意見なし～

次の議案に入らせていただきます。
それでは、計画の進捗管理について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

素案28ページ以降の重点施策について今後進捗管理していくことを説明

会長

進捗管理の方法について説明していただきました。これについては、かなりのご議論もいただきました。限られた時間の中ですべてを丁寧に見ていくことは難しいため、重点を3つ挙げて、それについて、一つひとつ丁寧に、例えば放課後児童クラブに関する待機児童の問題については、量はどうか、質はどうかというところを具体的に資料で見えていき、市の重点に即したものを徹底的に管理し、そこから補完して管理をしていくということですが、ご質問・ご意見はありますか。

委員

48ページ、子育て支援関連団体の登録数は、何をもって登録数とするのですか。

事務局

社会福祉協議会でボランティア登録をされており、様々なボランティア団体がありますが、その中で、子育て支援関連団体のカテゴリーがありますので、そちらの件数を見えています。

委員

実際に子育てひろばを開催しているところは、社会福祉協議会に登録していない人もたくさんあると思います。そういう方々の把握も、アンケートの設問などを通じてできるとよいと思います。大きな地域ではなく、小さい規模でやっているところもけっこうあると思いますので、そういったところを把握していただきたいと思います。よろしくお願いします。

事務局

市として把握できるものがなかったのですが、今たちまち把握できる場所として社会福祉協議会の登録数を入れていましたが、地域づくり協議会では貸館等もされていて、利用者の方の把握もされているようなので、今後検討させていただきたいと思います。

会長

ありがとうございました。具体的に動いていただいているところもたくさんあると思いますので、貴重なご意見をありがとうございました。

委員

私の知り合いのお子さんがこの3月に幼児教育の短大を卒業されました。長浜市で保育士さんになるのですが、わざわざ正職ではなく非正規を受けたそうです。本当のことかどうかはわかりませんが、先輩から「2年くらいは正職ならいいよ」と言われたそうです。正職になると担任を持たされてしまうので、初めは2～3年は非正規で働いて、妊娠出産を経て、それから正職になるほうがいいよ、という話です。その知り合いのお子さんもお友達も含め、4人くらいが非正規で働くということになっているという話を聞きました。給料云々の処遇だけでなく、他のこともあるのではないかと思いました。せっかく正規職員を募集されているのに、受けないのはもったいないと思いました。幼稚園と保育園の中はわかりませんが、幼稚園を受けた方の声です。研修受けましょうとか給料上げましょうとか、それも一つではありますが、単にそういうことだけでは解決しない部分があるのではないかと思います。

会長

これについて、いかがでしょうか。

委員

そういう学生ばかりではないが、一部にはそういう考えを持つ学生もいるようです。就職が決まってから面談をするのですが、どの子も不安を持っています。他の職員とうまくできるのか、いつも帰りが遅くなるのではないかと。園長先生は早く帰りなさいと言ってくれるが、先輩がいるのでなかなか帰りにくいとか。先輩からの情報が入っているので心配に思っている学生がいます。私の学校では面談をするので、不安をなくせるようにしています。確かに臨時を最初から希望する子もいます。保育士免許を取ったけれど、やっぱり無理だ、と一般就職する子も中にはいます。

事務局

幼児課としては、正規職だと責任も多く大変なところもあると思います。職場間で働きやすい環境、新人をサポートする体制をつくっていかねばいけないと思っています。やはり人間関係が一番大事だと思っていますので、職場環境、風通しのよい職場をつくってほしいと思っています。

会長

決して多くはないけれども、そういう方もいるということです。生の声をありがとうございました。他、いかがでしょうか。

委員

43 ページ、子育てコンシェルジュの認知度の向上ということで、高い目標も掲げていただいています。項目2のところ、「子育て応援アプリながまるキッズ！」のインストール数についても挙げていただいています。いろいろな方に認知はされているとは思いますが、親御さんにとって有益な情報であればぜひインストールをという声かけもでき、もっと早い段階で数を増やすことはできると思います。今後は、情報の充実、内容の見直しをしていくのか、そのあたりをお伺いしたいと思います。

会長

今わかる範囲で、事務局、いかがでしょうか。

事務局

何もせずに拡大していくものではないと思っています。実際のお母さん方のニーズに合った内容にしていきたいので、実際の声聞きながら、例えば、今は電話でしか受け付けていないイベントをアプリから参加予約ができるようにして、電話ではちょっと…という方がアプリでポンと押すだけで参加できるように検討中です。内容をどうすることによって、アプリを使っていただけるようになるのか、一歩踏み出しにくい方がすっと入れるようになるのか、これは課内でずっと考えていくことだと思っています。

会長

これは職員でつくっているのか、それとも、プロの業者がつくっているのでしょうか。

事務局

プログラムは業者で、アンケートをして、アイデア出しをしているのは職員のほうです。

委員

子ども向けのおはなし会等、お母さんたちが載せてほしいと思う情報はいろいろあると思いますが、情報の精選はどのようにしているのでしょうか。基準はあるのでしょうか。

事務局

長浜市内のイベント情報は、公的なものでも民間のものでも、どなたでも情報をいただければ載せることにしています。知り得た情報はすべて載せられるように努めています。ただ、すべての情報をお寄せいただいているわけではないので、こちらからまちセン等にお声がけして情報をいただいて載せるようにしています。また、政治的なもの・宗教的なものはお断りすることもあります。それ以外のは、ハードル等を設けないように、できるだけやさしい言葉で載せるようにしています。

会長

団体の発信は基本可能であるということです。敷居が高いと思っている方もいるのかもしれないので、そのあたりの啓発も必要なのかもしれないですね。ありがとうございました。

委員

参考資料の中に、「無償化」について書かれています。関係者はわかっているとは思いますが非常にややこしいので、何が無償化で、何が無償化でないのかということをもっと具体的に載せてみてはどうでしょうか。例えば、幼稚園の預かり保育は無償化になるのか、教材費は別途必要なのか、給食費はどうなのか、情報としてあげてはどうでしょうか。

事務局

幼児課では、ホームページ等でも、無償化に特化したページを作成させていたでています。ここが無償化になるとか、今までは無償であったが今後は実費でいただくことになるものとか、掲載させていただいています。計画書の中でも、資料編等にわかりやすく追記することで対応させていただきたいと考えています。

会長

無償化については、ボリュームもありますし、確かにわかりづらいと思います。国が示しているわかりやすいページにリンクを貼るとか、用語集かどこかで解決できる方法があればいいと思います。ありがとうございます。お願いします。

委員

広く長浜市民の方に知っていただくという意味で、51 ページにあるように、外国人市民に対する施策もたくさんあるので、外国の方にもっと知っていただけるように、やはり日本語だけでは難しいと思いますので、外国語で発行することも考えたほうがよいのではないかと思います。

会長

外国語のパンフレットは予定しているのですか。審議会の中で、ニーズ調査も多言語でという話がありました。そういうことも含めてのご意見だと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

計画全体を外国語版で印刷するということまでは予定していませんが、計画の中に書かれている事業について、外国の方に必要と思われる部分を切り取って、パンフレットにしていくことは考えていきたいと思っています。

委員

長浜市の外国人は4,000～5,000人くらいになるのですか。

事務局

人数については、39 ページに外国人人口の推移を棒グラフで掲載していますようにH30年度で3,480 人です。

委員

37 ページにあるように、子どもは言語の習得は早いですが、親御さんは言語で苦労している場合が多いようです。親御さんが具合が悪くなって病院に行くときに、上手に説明できないので子どもを連れて行っているという事例を聞いたことがあります。そのために、子どもが学校を休んで行くという場合もあると聞いています。子どもだけでなく、保健指導とともに、親への支援の部分についてもしていただけるとよいのではないかと思います。

会長

ありがとうございました。これだけ外国籍の方が増えてきているという現状の中でのご意見でした。具体的に発信していく部分については、多言語化していくということですね。

事務局

「子育て応援ナビ」で一冊にまとめているものは、ポルトガル語でも出していて、ホームページでも紹介しています。概要をまとめた施策については、外国籍の人に届くようなかたちにはなっていると思います。

委員

アプリは外国語ですか。

事務局

アプリの同時通訳まではできませんが、ホームページのインストールができるようになれば、そこから外国語で見ただけできるようになっています。

委員

世代も若くなってきて、皆さんスマートフォンも持っていらっしゃると思うので、アプリで書いてあることがわかれば、言葉は通じなくても便利になるのではないかと思います。

事務局

翻訳は専門性のある言葉なので難しいところもありますが、今はできるところから進めています。簡単な会話はポケトークなどでもあるが、込み入った内容や、感情的なものの表現など、すべての会話ができるわけではないので、大事な課題だと思っています。

委員

今は、文章をカメラで撮ると、翻訳されるというものがあるそうですね。

事務局

最新バージョンのものを、当課でも2台購入しました。

会長

外国の方への情報発信方法については、自然災害等でも課題になっています。このあたり、ご配慮いただけたらということだと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

委員

29 ページの上の表について、幼稚園、保育所の「利用者」と「未利用者」というのがありますが、この中身について、待機児童や生活困難の実態は把握されているのでしょうか。

事務局

「未利用者」のほとんどが、0歳、1歳、2歳児の在宅保育です。それ以外については、就園率というかたちで、そこで把握しています。

会長

これが待機児童というわけではないということです。明確な回答をありがとうございました。

来年度に向けての子育て施策について、それぞれのお立場からご意見・ご感想をいただけたらありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員

63 ページの子育てサポーター養成講座についてお聞きします。養成講座を終えられて、子育てサポーターとしてどのような活動をしていらっしゃるのかお聞きしたいと思います。

事務局

担当課ではないので直接はわからないのですが、幼児課としては、講座を受けられた方の中でさらに受講を希望される方に講座を開いており、受けていただいた上で、幼稚園の未就園児広場に来ていただいて、そちらで活躍していただいています。

長委員

何人くらい、いらっしゃるのですか。

事務局

正確な数字はわからないが、10人くらいだと思います。

委員

私自身も受けたことがあるので、その立場から少し気になりました。

事務局

受講後の活躍の場として、担当課としては、ファミリー・サポート・センターへの登録などを検討いただけるといいと思っています。

委員

受けられたかたがどのような場で活躍をしているのかが見えるようになると思います。

会長

他、いかがでしょうか。

～意見なし～

会長

本日予定している議題については以上となります。

これですべて終わりましたので、計画が完成しましたら冊子と概要版として送ってください。では、事務局にお返しします。

事務局

子育て支援課長よりお礼のあいさつを申し上げます。

課長

貴重なご意見ありがとうございました。会議のどの回においても、気づかされることがたくさんございました。貴重なご意見をいただきました。今後、実行が問われてくると思います。引き続きこの計画がしっかり進められて、子どもたちが安心して暮らせる長浜となることを応援していただければと思います。本日はどうもありがとうございました。

閉会